

2 熊本博物館の紹介 【簡単な沿革とリニューアル】

熊本博物館が自然系・人文系を有する郷土の博物館として設立されたのは昭和 27(1952)年のこと。その後、いくつかの変遷を経て昭和 53(1978)年、現在の場所に本館が新しく建てられました。

従来の自然・人文系分野に理工分野とプラネタリウムを併設した「独自性のある総合博物館」で、本館の他に熊本城天守閣内には分館があります。

現在、自然系には動物・植物・地質・天文・理工分野、人文系には考古・歴史・民俗・美術工芸分野、自然・人文系の双方に関連の深い保存科学分野があり、全：10 分野を有する博物館に成長してきました。

ここ数年来、時代の流れに伴う新たなニーズや進歩する展示・保存技術に対応するため「リニューアル」に向けた準備が本格化し、平成 27(2015)年 10 月からは大規模改修工事が始まったところです。

熊本博物館の基本理念は「広域情報型・市民開放型・郷土立脚型・人間密着型の博物館」で、県域に広がる多彩なフィールドの紹介、調査・研究の成果を市民に還元する取り組み、郷土熊本の多様で豊かな資源の活用、時代や市民の皆様方の要請・要望への適切な対応等を重視してきました。今後のリニューアルにおきましては、それらの基本理念を継承しつつ現代的な視点で整理・再構築していくことになります。

リニューアルオープンは平成 29(2017)年末の予定です。関係諸機関との連携を密にし、館内外での協議を重ねながら政令指定都市にふさわしい「より魅力的な博物館」として皆様方をお迎えできるよう努力してまいります。展示内容・展示方法等を一新した熊本博物館にご期待ください。

今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



熊本博物館 北側玄関付近